



文部科学省後援 PDA全国高校 即興型英語ディベート合宿・大会2020 報告書

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会

(PDA) 日程：2020年8月8日(土)～9日(日)

(1日目) 練習3ラウンド、レクチャー、予選1、Zoom夕食会

(2日目) 予選2、予選3、キーノートレクチャー、レクリエーション、準決勝、決勝

会場：Zoomにてリモート開催(大阪府立大学内に本部設置)

主催：一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会(PDA)

後援：文部科学省

助成：公益財団法人日本財団、公益財団法人KDDI財団



参加校：

(福岡県)福岡県立城南高等学校、(栃木県)作新学院高等学校トップ英進部、栃木県立佐野高等学校、(神奈川県)神奈川県立茅ヶ崎北陵高等学校、聖光学院高等学校、神奈川県立平塚江南高等学校、神奈川県立相模原高等学校、浅野高等学校、法政大学国際高等学校、栄光学園高等学校、山崎学園富士見高等学校、神奈川県立柏陽高等学校、(滋賀県)近江兄弟社高等学校、(三重県)三重県立四日市高等学校、(大阪府)関西大倉高等学校、(福井県)福井県立藤島高等学校、(岩手県)岩手県立一関第一高等学校、岩手県立盛岡第一高等学校、(京都府)京都府立嵯峨野高等学校、(長野県)長野県立松本県ヶ丘高等学校、長野県立松本深志高等学校、(兵庫県)雲雀丘学園高等学校、神戸大学附属中等教育学校、兵庫県立千種高等学校、神戸市立葺合高校、(山口県)山口県立山口高等学校、(東京都)東京都立小石川中等教育学校、白百合学園高等学校、(鹿児島県)鹿児島県立大島高等学校、(徳島県)徳島県立城ノ内高等学校、(埼玉県)さいたま市立浦和高等学校、埼玉県立川口北高等学校、(熊本県)熊本県立第二高等学校、(千葉県)翔凜高等学校、(富山県)富山国際大学附属高等学校

(順不同)

開催趣旨：

〈高校生向けプログラム〉

本合宿・大会は、即興型英語ディベートの実践を中心としたプログラムで、集中的に「英語での発信力」、「論理的思考力」、「幅広い知識」、「プレゼンテーション力」、「コミュニケーション力」を鍛えます。大学生・大学院生をはじめとした補助スタッフによる手厚い指導も伴い、効果的に上記スキルを向上させます。合宿での集中実践の成果を効果的に発揮できるよう、後半には大会を設けています。また他校生徒との交流も深まります。

〈高校教員向けプログラム〉

本合宿・大会では、生徒のみならず、教員を対象としたプログラムを同時に進行させます。授業に導入できる即興型英語ディベートの手法を知っていただく、また即興型英語ディベート実践を経験していただくプログラムとなっています。授業での導入を前提とするため、合宿では一つのコマを約 50 分としています。また、さらに効果的なプログラムを共に開発するための意見交換会も設けています。

論題（論題は、毎回ディベート開始 15 分前にはじめて発表されます）：

論題 1 : A grade should be decided based on learning outcomes.

（学習成果に応じて学年を決めるべきである。）

論題 2 : A fat tax should be introduced.

（脂肪税を導入すべきである。）

論題 3 : Persons who spread a virus on purpose should be sentenced to death.

（ウイルスを故意に拡散すれば、死刑とする。）

論題 4 : Japan should accept more foreign refugees.

（日本はもっと難民を受け入れるべきである。）

論題 5 : Japan should legalize euthanasia.

（日本は、安楽死を合法化すべきである。）

論題 6 : A pet tax should be introduced.

（ペット税を導入すべきである。）

論題 7 : Authoritarianism is better than democracy during the COVID-19 pandemic.

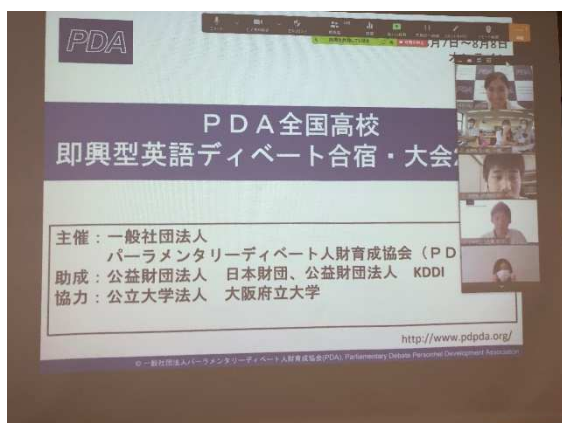
（コロナ禍では、民主主義より権威主義の方がよい。）

論題 8 : A life imprisonment should be imposed on a person who lead others to commit suicide with slander.

（誹謗中傷で自殺に追い込んだ場合、終身刑を課す。）

1 日目

開会式では、まず今回の参加校の紹介がなされました。Zoom での開催は初めてであることから、カメラとマイクのチェックも兼ねて学校の名前が呼ばれると周りの学校に挨拶する練習をしました。そのあと、スタッフの紹介、合宿スケジュールの確認、ルール諸注意が行われました。今回は、授業の部、課外活動の部 初心者、課外活動の部 一般、教員の部の4部が同時並行です。授業の部においては、学校の通常授業において即興型英語ディベートに取り組んでいる学校を対象とし、普段の授業への積極的な参加の成果を発揮する場、また合宿で学んだことを各校に持ち帰られるシステムとしています。



開会式の様子①



開会式の様子②

練習ラウンド1の論題は「学習成果に応じて学年を決めるべきである」です。教員の部はラウンドをジャッジする先生、生徒の様子を見学する先生に分かれました。生徒たちはそれぞれの経験を参考にどのような議論ができるかブレストシート（アイデア出しシート）にメモしていきました。ディベートが終わると、他校の生徒と自己紹介をし、現在の学校の状況などを話し合う姿が見られました。

練習ラウンド2の論題は「脂肪税を導入すべきである」です。ラウンド1より実体験から離れた議題でしたが、生徒たちはそれぞれの意見を出し合い建設的なディベートに努めていました。

練習ラウンド3の論題は「ウイルスを故意に拡散すれば、死刑とする」です。新型コロナウイルス影響下にあることから、白熱した議論が交わされていました。

また、練習ラウンド中は各テーブルで生徒にもジャッジ役を割り振り、他人のディベートを聞いて勝敗やその理由を振り返ってもらう練習をしました。ジャッジを務めることが初めてという生徒もいましたが、事前に視聴してもらったジャッジレクチャーの動画を参考に、客観的な視点でディベートを評価する体験は生徒たちにとって新鮮だったようです。

並行して教員の部でもディベートが行われ、実際にディベーターを体験すると同時にジャッジの練習をする機会が設けられました。

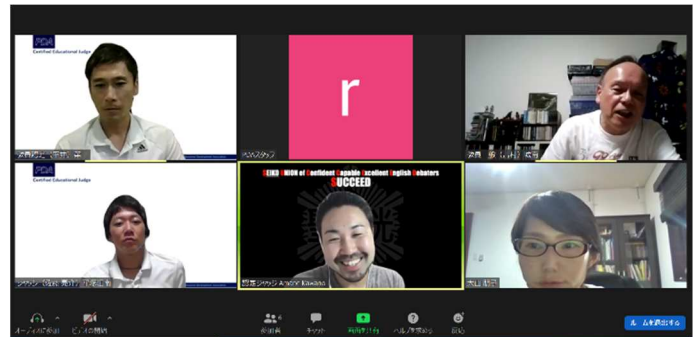
一日目の最後は、生徒の予選1です。予選1の論題は「日本はもっと難民を受け入れるべきである」です。練習ラウンドでディベーターやジャッジを務めた経験を活かし、活発な議論が行われました。ディベート後、国境なき医師団様の協力により難民キャンプの様子を映した映像をVRゴーグルで視聴し、議論した内容をより理解できたようです。

本来の合宿では参加者が一堂に会し交流を深める夕食の時間ですが、今回はリモートでの開催のため Zoom での夕食会が開催されました。ディベートの準備中にも使用したブレイクアウトルームに無作為に3、4人の生徒が分けられ、限られた時間の中で自己紹介や学校のオンライン授業の様子など、各地の様子を聞いていました。普段の合宿や大会で出会

うよりもより様々な地域の生徒と交流でき、楽しかったというコメントが生徒から聞かれました。加えて、教員懇親会も開催され、それぞれの学校でのパラメンタリーディベートの導入具合など意見交換が行われました。



Zoom 夕食会の様子



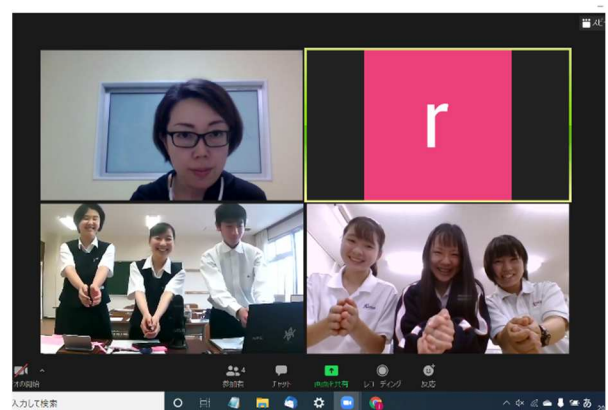
教員懇親会の様子

2 日目

2 日目は朝から予選 2 が始まります。予選 2 の論題は「日本は、安楽死を合法化すべきである」です。Zoom を用いたディベートにやや慣れてきた様子で、POI 等の積極的なディベートへの参加が見られました。

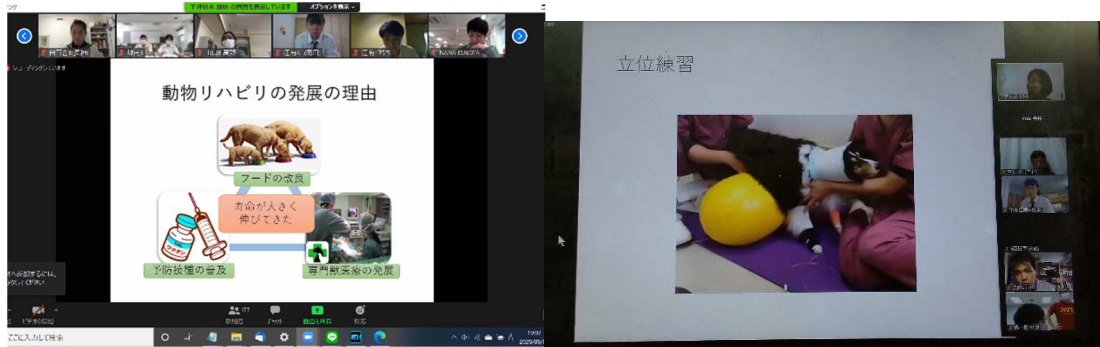


予選②の様子



ラウンド後はエア握手も忘れずに

続いて予選 3 の前に、論題に関するキーノートレクチャーを理学療法士の下神納木加枝先生にいただきました。先生の活動である動物リハビリが動画などを通して紹介され、生徒たちは普段目にする事のない活動に興味津々な様子でした。



キーノートレクチャーの様子①

キーノートレクチャーの様子②

レクチャーの内容を受けて、予選3の論題は「ペット税を導入すべきである」です。レクチャーで話された他の国での事例や日本の状況を参考に、様々な議論が飛び交いました。



予選③の様子

積極的に POI!



両手を使って POI

昼食前に、ナガシマスパークランド様の協力により、VR ゴーグルを用いたアトラクションの体験が行われました。体験する人が椅子に座り、周りの人が椅子を揺らしたりうちわで風を送ったりすることで実際にアトラクションに乗っているような臨場感が味わえたようです。体験中の生徒たちからは歓声や悲鳴が聞こえ、大変楽しんだ様子でした。



VR アトラクション体験の様子

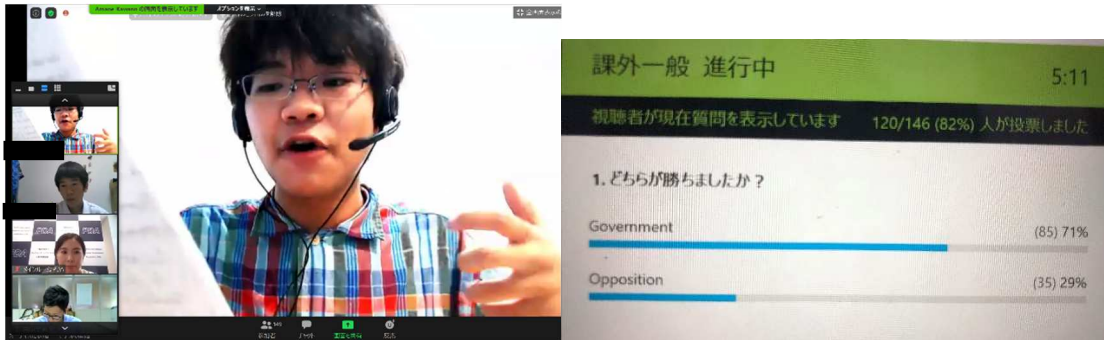
そのあと昼食を経て、準決勝進出チーム（授業の部、課外活動の部(一般)）、決勝進出チーム（課外活動の部(初心者)）の発表（ブレイクアナウンスメント）が行われました。

予選とは違い、多くの観客が見守る中、準決勝（授業の部、課外活動の部(一般)）、決勝（課外活動の部(初心者)）が開催されました。論題は「コロナ禍では、民主主義より権威主義の方がよい」です。予選ラウンドとは毛色の違う論題になりましたが、生徒たちは変わらず白熱した議論を繰り上げました。



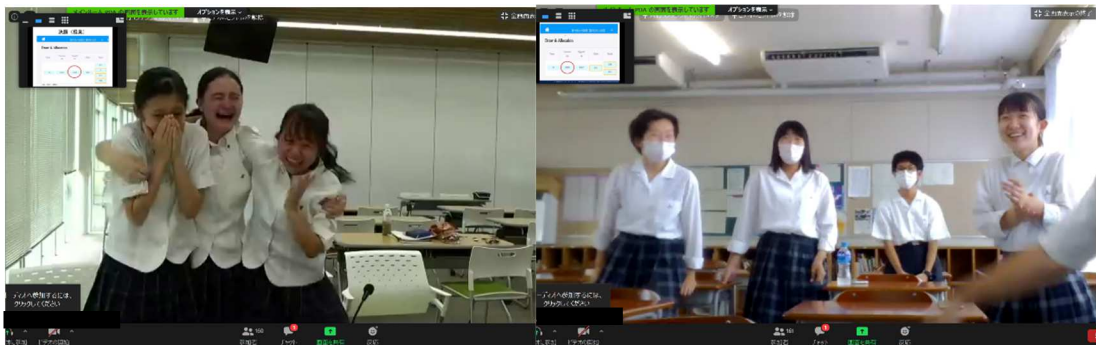
準決勝の様子

いよいよ決勝です。決勝の論題は「誹謗中傷で自殺に追い込んだ場合、終身刑を課す」です。多くの生徒や教員が見守る中、全員が堂々とディベートを行いました。本合宿では生徒がジャッジを経験したため、決勝では生徒の投票も行われました。

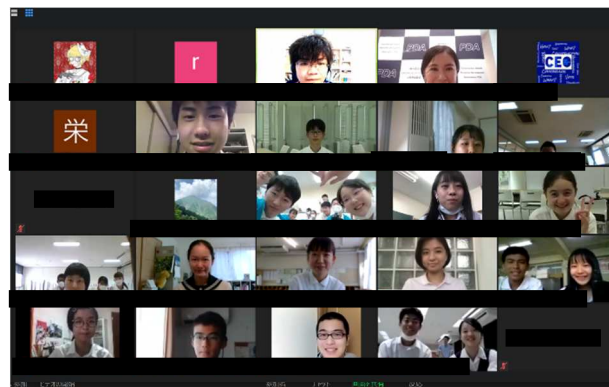


決勝の様子

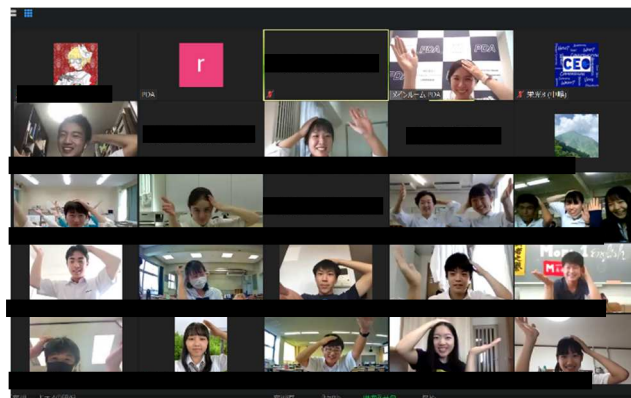
生徒の投票が行われました



受賞の喜びをチームメイトと分かち合う



ベストディベーター賞の皆さんと



ベスト POI 賞の皆さんと (POI ポーズで!)

結果

チーム賞 (授業の部)

- 優勝： 作新学院高等学校トップ英進部 B
- 準優勝： 作新学院高等学校ト
ップ英進部 A
- 3位： 作新学院高等学校トップ英進
部 C
- 3位： 福岡県立城南高等学校 B



優勝 作新 B



準優勝 作新 A

チーム賞 (課外活動の部 初心者)

- 優勝： 浅野高等学校 B
- 準優勝： 福井県立藤島高等学校 C



優勝 浅野 B

チーム賞 (課外活動の部 一般)

- 優勝： 栄光学園高等学校 B
- 準優勝： 福井県立藤島高等学校 A
- 3位： 浅野高等学校 A
- 3位： さいたま市立浦和高等学校 B



準優勝 藤島 C

ベストディベータ賞 (授業の部)

- 作新 B _____
- 作新 A _____
- 城南 C _____

ベストディベータ賞 (課外活動の部 初心者)

- 法政 A _____
- 藤島 C _____
- 相模原 C _____
- 城ノ内 A _____
- 大島 A _____
- 小石川 B _____
- 浅野 B _____
- 茅ヶ崎北稜 _____



優勝 栄光 B



準優勝 藤島 A

ベストディベーター賞（課外活動の部 一般）

- ・ 相模原 B _____
- ・ 大島 B _____
- ・ 神戸大附属 B _____
- ・ 浅野 A _____
- ・ 栄光 B _____
- ・ 白百合 A _____
- ・ 藤島 A _____
- ・ 聖光 B _____



ベスト POI 賞（授業の部）

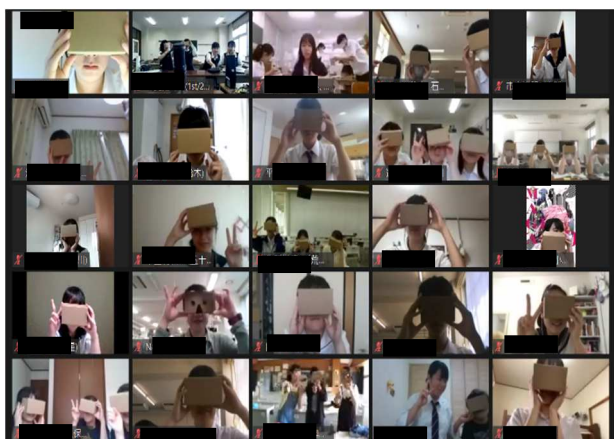
- ・ 作新 B _____

ベスト POI 賞（課外活動の部 初心者）

- ・ 城ノ内 A _____
- ・ 神戸大附属 C _____
- ・ 四日市 A _____
- ・ 茅ヶ崎北陵 _____
- ・ 相模原 C _____
- ・ 相模原 A _____
- ・ 城ノ内 B _____
- ・ 雲雀丘 _____
- ・ 佐野 C _____
- ・ 藤島 C _____

ベスト POI 賞（課外活動の部 一般）

- ・ 松本深志・城ノ内 _____
- ・ 相模原 B _____
- ・ 翔凜 B _____
- ・ 小石川 A _____
- ・ 栄光 B _____
- ・ 佐野 B _____
- ・ 盛岡第一 _____
- ・ 市立浦和 B _____
- ・ 市立浦和 A _____



アンケート（抜粋）

生徒の声

- 楽しかったです。今後もっとがんばらなければと良い刺激になりました。（白百合学園高校・1年）
- 本当に勉強になりました！次は全てのラウンドで勝って優勝目指します！ありがとうございました！（徳島県立城ノ内高校・1年）
- I was able to catch the main point and see how judges think from their points of view.（富山国際大学附属高校・2年）
- 自分の勉強のモチベーションになりました。これから頑張っていきます。（鹿児島県立大島高校・2年）
- とても勉強になった。権威ある先生方にジャッジしていただける良い機会だった。（栃木県立佐野高校・2年）
- 上手な人の英語をたくさん聞くことが出来たし、自分もいつもより英語を話すことが出来た。（山口県立山口高校・1年）
- オンライン開催で他校の生徒たちと実際に会えなかったのは寂しかったですが、オンライン上でも交流することができたので良かったです。また各試合の motion では、今の時事問題に関わることも多く、大変勉強になりました。（さいたま市立浦和高校・2年）
- （ジャッジ体験について）公平な判断を下すことが難しかったが、しっかり考えることができた。（岩手県立一関第一高校・1年）
- 上位高のディベートを見て、内容や理由などの説明方法が分かったので良い刺激になった。ジャッジも試してみても、どんなところを見るのかが勉強になった。（神奈川県立茅ヶ崎北陵高校・1年）
- 遠隔ディベートという点で非常に助かりました。普段経験出来ないような高校と試合ができ、学ぶ事ばかりでした。出来れば今後も私たちの様に遠い地区からもためらう事なく参加できるよう、オンラインでの参加を希望します。よろしくお願いします。（岩手県立一関第一高校・2年）
- 全国の英語やディベートが好きな高校生と試合ができ、また試合以外での交流もできてとても楽しかったです。とくに土曜日の夕食会は気軽にいろんな人と話ができとても貴重な体験でした。コロナさえなければ、面と向かって話ができただけのとも思ってしまうくらいです。さらにディベートが好きになり、もっと頑張りたいと思いました。ありがとうございました！（三重県立四日市高校・2年）
- いろんな人とちょっとでも話せて楽しかったです。しかし、やはり思うように自分の意見を伝えられなかった試合もあり、後悔の念が残ってしまいました。（京都府立嵯峨野高校・2年）
- 普段忘れがちな make friends、ディベートを楽しむことを思い出せて良かったです。ディベートがもっと好きになり、さらに頑張っていこうと思いました。（福井県立藤島高校・2年）
- 試合だけでなく、レクリエーションや食事会など楽しめる要素がたくさんあって、すごくよかったです。また、全国の様々な高校さんと試合ができ学ぶことも多く、自身の改善点なども見つけることができ、今後の上達につなげられる良い機会だった。（さいたま市立浦和高校・2年）
- 多くの高校の生徒と試合や夕食会で交流することができ、自分の力を成長させるきっかけになっただけでなく、コミュニケーションも取れて楽しかったです。

また、レクリエーションの VR もとても楽しかったです！（栃木県立佐野高校、2年）

- ほぼスケジュール通りに進行されていて、運営の皆さんが素晴らしいなと思った。また、夕食会やレクリエーションなどで楽しめる要素も多くて、ひと夏のいい思い出になった。（岩手県立一関第一高校、生徒）
- ディベートだけでなく、キーノートレクチャーやVRレクリエーションなど、いろいろな企画があって、面白かったです。（浅野、1年）
- 多くの高校の生徒と試合や夕食会で交流することができ、自分の力を成長させるきっかけになっただけでなく、コミュニケーションも取れて楽しかったです。また、レクリエーションのVRもとても楽しかったです！チームメイトとの仲も深まりました。（栃木県立佐野高校、2年）

教員の声

- 毎年楽しみにしておりますが、今年も運営スタッフの皆様のおかげで充実した時間を過ごすことができました。様々なトラブルに対処していただきまして、ありがとうございました。（教員）
- スタッフの方々のお蔭です！本当にお疲れさまでした！！実際に、またいつの日かお会いしたいですね！！（教員）
- PDA が一番先進的に様々なことを取り組んでいると思います。特にジャッジの点数の誤差をなくすループリックの導入は秀逸です。今後、英研の面接委員に対して実施しているような、「カリキュレーション」を導入して、すべてのスピーカーに対して統一を図ればよいと思います。（教員）
- 今年は中止だと思っていましたので、中川先生をはじめ運営して頂いた方々には感謝がありません。生徒たちにとって、このような状況で先行き不透明な日々を送る中で、大会に参加したことは素晴らしい経験になったと思います。ありがとうございました。（教員）
- 夏の合宿には初めて参加しました。コロナ禍で大変だったと思いますが、運営お疲れ様でした。どのラウンドも勉強になりました。また、授業でも行えるように研修をしていきたいと思います。ディベートの力に加え、英語力も向上させていきたいと思います。（教員）
- 教員初心者の方のディベート体験が楽しく、またキーノートレクチャーが非常に興味深かったです。ディベートの論題が今の社会情勢ならではのもので、高校生にぜひ考えてもらいたい内容だったので、非常によかったです。（教員）
- 認定ジャッジの方のリフレクを聞いて、大変勉強になりました。（教員）
- 久しぶりに参加しましたが、Zoomの参加だと受け身になりがちのところ、自分が活動しなければならぬ積極性が求められ、常にONの状態になっているところが良かったと思います。またVRのリクリエーションも、Keynoteも刺激のあるものでした。（教員）

ご支援、ご協力いただきましたすべての皆様に心より感謝申し上げます。

以上